



## もはや人事権の濫用だ！

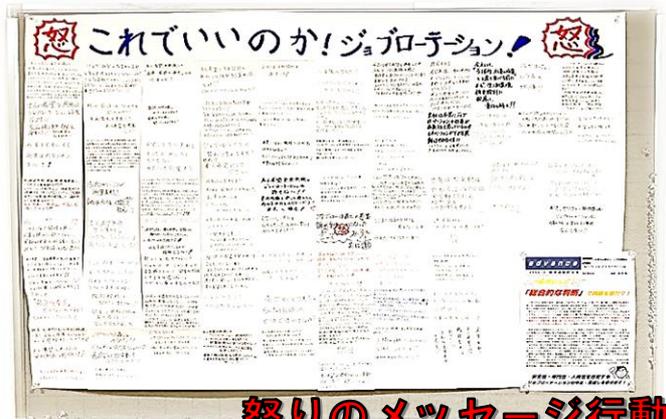
# 本人希望を無視した懲憑がなされる

昨日、輸送サービス労組組合員が異動の懲憑を現場長から受けた。現場長からは「今までの頑張りを他で発揮し、成長のために様々な経験を積んで欲しい」「来月上旬の異動で、(再)来週には事前通知が出る」「駅への異動だと思う」と告げられた。本人は「秋の面談の中で運転士を希望している。把握しているのか?」と確認をしたところ、「把握はしている、今までの頑張りを発揮して欲しい」と繰り返し回答を受けた。

横浜運輸区では2月1日付で4名の運転士が駅へ異動している。2ヵ月も経たないうちに再度異動の話が出ていることとなる。本人のモチベーションや経験労働を無視した懲憑であり、決して認められるものではない。

今の会社は、各書面で「社員・家族の幸福」と前面に打ち出しているが、言葉だけが独り歩きしている事態となっている。1月に行ったメッセージ行動では、**同じ思いに立つ**たくさんの仲間から怒りのメッセージを集約した。本人の希望しない異動が、働く私たちにとって理解・納得できない、会社のやり方・考え方に対する不満が溜まっている表れである。

会社は人事権の濫用はやめ、社員の声に耳を傾け、社員を大切にする会社を目指すべきであることを強く訴える。今こそ変革の時期なのである。



怒りのメッセージ行動

「組合員、仲間を守るため」に私たちは闘います。こんな異動を認めていたら、私たちが不幸になるだけで何も残らない。不幸になる懲憑・異動は認めない。会社は懲憑・異動の理由を具体的に説明することを求める！！

# 私たちは仲間の為に関わります！